



歯科診療室だより

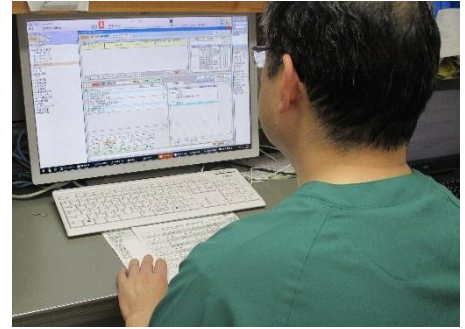
公立みつぎ総合病院

13号

平成30年6月8日

電子カルテ

今年3月から病院のカルテシステムが変わったと同時に歯科のカルテシステムも変わりました。従来は紙のカルテに書いていましたが、遂に歯科も電子カルテになりました。まだまだ、入力に慣れない点が多く、時間がかかることがあります患者さんにご迷惑をかけるばかりで申し訳ありません。私達も慣れて効率よくできるようには努力していますが歯科のシステムに改善することが多く、メーカーと検討しながら日々進歩するように努力をしていますので長い目で見て下さい。



義歯（入れ歯） その1

入れ歯の歴史をご存知ですか？有名なところではワシントン（1732～1799）は、歯



が1本も残ってなく1ドル紙幣の肖像画が描かれたときには総入れ歯だったそうです。左の写真のような入れ歯を口の中で押さえつけて使っていたそうです。口が前に出たような感じになっているのはこのためです。今とは違って何か難しそうではないですか？もし、1ドル紙幣を見る機会があったら、この入れ歯が入っていたのだなあと思って見て下さい。

では、日本ではどうだったのでしょうか？天文7年（1538年）に亡くなった和歌山市の願成寺を開山した中岡テイという尼僧が着けていた入れ歯が最古だと言われています。その入れ歯は「木床義歯」といって黄楊（つげ）の木で作ったものでした。

現在の様に吸着する義歯ができたのは、1800年歯科医師のJ. ガーデッドがたまたまスプリングを付けずに安定している義歯に気付いたからだそうです。もし、この発見がなければもう少し現在の義歯の形になるのが遅れていたかもしれません。でも、現代科学の進歩によってこの入れ歯の形になっていますので、近い将来もう少し違った形の入れ歯になるかもしれません。



文責 診療部長 占部秀徳